

議会だより しずし /

編集・発行/酒々井町議会

〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171 (代表)



No.207

令和5(2023)年5月22日発行

写真/4月11日 大室台小学校入学式



議会HPは
こちらから
Check!

5月
臨時会

新たな議員16人が抱負を語る.....P2~P4

3月
定例会

令和5年度予算.....P5~P8

条例改正などの議案審議・町長施政方針.....P9~P10

委員会・本会議での審議結果.....P11~P13

一般
質問

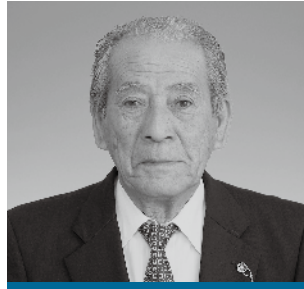
議員12名が町政を問う.....P14~P20

5月臨時会 初議会

新議員16人が 抱負を語る

4月23日に行なわれた酒々井町議会議員選挙によつて、16人の議員が決まりました。
5月9日に初議会となる臨時会を開催し、議長・副議長の選挙を行なった結果、議長に高崎議員、副議長に酒々井議員が選出されました。

議長



議席番号16 総務常任委員会

たかさき ながお
高崎 長雄
墨/74歳
当選回数 10回

酒々井町発展のため
全力で働きます

執行部と議会は車の両輪に例えられるように、今後、執行部と議会がそれぞれの立場から議論を尽くし、ともに歩み、よりすばらしい酒々井町にしていきたいと考えております。
町民の皆様には、議会に関心をお寄せいただき、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副議長



議席番号8 総務常任委員会

さかせがわ よしこ
酒瀬川 芳子
酒々井/73歳
当選回数2回

町民皆様の声を活かして
誰もが暮らしやすい町づくりを

高崎議長を支えるとともに、お力添えをいただきながら、円滑なる議会運営と酒々井町のさらなる発展、誰もが暮らしやすい町づくりに取り組んでまいります。
今後とも町民の皆様にとって、身近な町議会を目指してまいりますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



議席番号1 教育民生常任委員会

こさか かずや
小坂 和也
東酒々井/37歳
当選回数1回

子どもたちが笑顔で過ごせる町にしたいと考えております。どんなことでもお気軽にご相談ください。



議席番号2 教育民生常任委員会

おかの よしひろ
岡野 義広
本佐倉/62歳
当選回数1回

子どもたちのために、みんなのために、酒々井町の未来のために頑張ります。



議席番号3 経済建設常任委員会

わたぬき かおる
綿貫 薫
尾上/63歳
当選回数1回

自主財源の確保や歳入改革を推進し、町民が健康で明るく躍動するまち酒々井実現のため働きます。



議席番号4 教育民生常任委員会

きうち のぶこ
木内 信子
中央台/75歳
当選回数1回

町民の皆様の声に耳を傾け、町政へのパイプラインとして働いていきたいと思っております。

一人の声を大切に、現場第一で町民の皆様の生活に直結した町政になるよう頑張ります。



議席番号7
教育民生常任委員会

おおいし のりこ
大石 法子
上岩橋/62歳
当選回数2回

町民の声に耳を傾け、多様性を認める、誰もが安心して暮らせる町づくりに取り組んで参ります。



議席番号6
教育民生常任委員会

しらい のりくに
白井 則邦
ふじき野/48歳
当選回数2回

皆様の笑顔のため、皆様と共に若さと元気と行動力で精一杯一人に優しい町づくりを目指します。



議席番号5
総務常任委員会

こはせ みほ
小早稲 美穂
東酒々井/48歳
当選回数2回

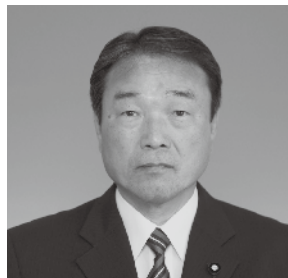
歴史ある町の独自性を活かして、持続可能なまちづくりを目指します。



議席番号11
教育民生常任委員会

かわしま くにひこ
川島 邦彦
上本佐倉/70歳
当選回数5回

約束 給食費の無償化！
議員定数の削減！
定住人口の増加！



議席番号10
総務常任委員会

みそのう ひろし
御園生 浩士
ふじき野/69歳
当選回数5回

お年寄りの安心と、子どもたちの未来を守るために、積極的に取り組みます。



議席番号9
経済建設常任委員会

かねづか まなぶ
金塚 学
ふじき野/49歳
当選回数3回

町政をチェックし、暮らしや福祉などの町民要求実現のために働き、住みやすい町を目指します。



議席番号14
総務常任委員会

じふく みえこ
地福 美枝子
東酒々井/73歳
当選回数9回

住民こそ主人公。町民の声や願いを大切に働きます。



議席番号13
経済建設常任委員会

たけお ただお
竹尾 忠雄
柏木/76歳
当選回数8回

高齢者が安心して暮らせる町、住民投票制度の発足と共に町議員の定数削減に向け誠実に働きます。



議席番号12
経済建設常任委員会

さいとう ひろし
齊藤 博
上岩橋/74歳
当選回数5回



子育て支援の充実を推進します。児童保育支援を行ないます。



議席番号15
経済建設常任委員会

えざわ しんいち
江澤 眞一
墨/68歳
当選回数6回

各委員会の新体制も決定

議会運営委員会

定例会の日程、本会議の進行手順、議会に関するルールなど議会運営全般について協議します。

- 委員長 金塚 学
副委員長 川島 邦彦
委員 地福美枝子
江澤 眞一
大石 法子
小早稲美穂

常任委員会

総務

議会事務局、総務課、企画財政課、税務住民課、会計室、選挙管理委員会、監査委員に関する事務、他の常任委員会に属さない事務を調査・審査します。

- 委員長 小早稲美穂
副委員長 地福美枝子
委員 高崎 長雄
御園生浩士
酒瀬川芳子

教育民生

住民協働課、健康福祉課、教育委員会に関する事務を調査・審査します。

- 委員長 大石 法子
副委員長 白井 則邦
委員 川島 邦彦
木内 信子
岡野 義広
小坂 和也

経済建設

経済環境課、まちづくり課、上下水道課、農業委員会に関する事務を調査・審査します。

- 委員長 江澤 眞一
副委員長 竹尾 忠雄
委員 齊藤 博
金塚 学
綿貫 薫

議会だより編集特別委員会

年4回発行する議会広報の編集をします。

- 委員長 御園生浩士
副委員長 小坂 和也
委員 金塚 学
小早稲美穂
木内 信子
綿貫 薫

議会選出の一部事務組合等議会議員

印旛衛生施設管理組合	小坂 和也	佐倉市、酒々井町清掃組合	小早稲美穂 綿貫 薫
佐倉市八街市酒々井町消防組合	江澤 眞一 岡野 義広	印旛郡市広域市町村圏事務組合	高崎 長雄
佐倉市、四街道市、酒々井町 葬祭組合	金塚 学 大石 法子	千葉県広域高齢者医療広域連合	白井 則邦



3月定例会
予算

修正動議でも
可決成立

中川調節池(用地購入費)予算

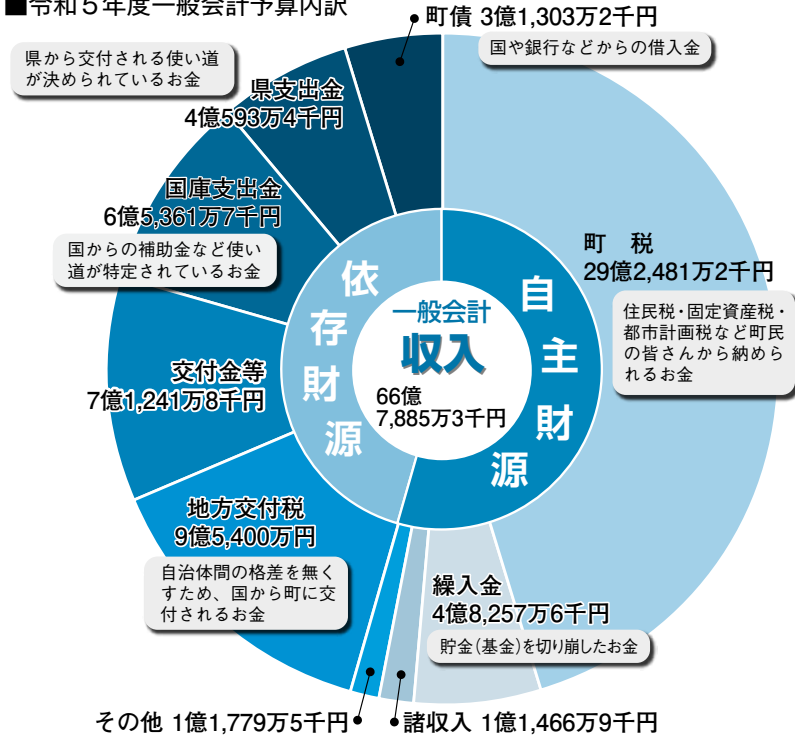
3月定例会概要

3月定例会は、2月28日から3月9日までの10日間の会期で開催され、令和5年度当初予算など町長から提案された議案17件と議員から提案された発議案1件について、それぞれ審議を行いました。審議の結果、議案等はいずれも原案のとおり可決・同意しました。

また、町長からは「災害時食料物資の供給に関する協定の締結」や「印鑑登録証明書等のコンビニ交付」など3件と、教育長からは「青少年交流の家に係る提訴の経過報告」の行政報告が行われました。

一般質問は、12名の議員が2日間にわたり行い、地域振興や子育て支援など町政全般について質問しました。

令和5年度一般会計予算内訳

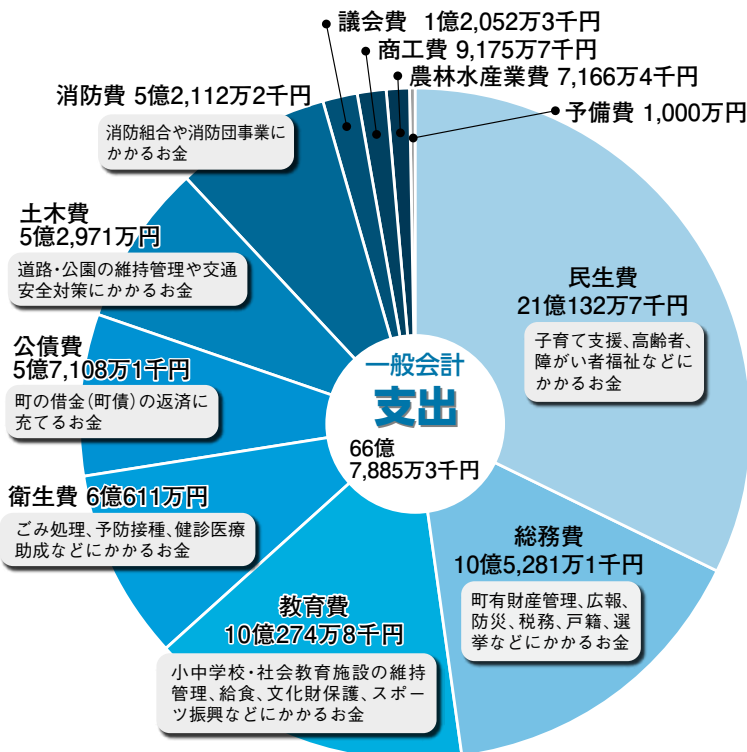


令和5年度の一般会計予算の総額は、66億7,885万3千円で、前年度より2億3,873万1千円、3.7%の増加となりました。

国民健康保険などの3つの特別会計予算の合計は、40億3,922万1千円で、前年度より1億1,728万8千円、2.8%の減少となりました。

令和5年度各会計予算

区分	令和5年度	前年度比較	
特別会計	国民健康保険	21億6,333万9千円 △1億4,493万1千円 (6.3%減)	
	介護保険	14億7,653万7千円 2,112万1千円 (1.5%増)	
	後期高齢者医療	3億6,404万5千円 652万2千円 (1.8%増)	
公営企業会計	水道事業	事業収益	5億4,180万円 △879万6千円 (1.6%減)
		事業費用	5億5,847万4千円 4,470万4千円 (9.7%増)
	下水道事業	資本的収入	1億5,392万5千円 △2億5,221万円 (62.1%減)
		資本的支出	2億7,385万1千円 △4億6,270万9千円 (62.8%減)
	公営企業会計	事業収益	3億7,828万5千円 △128万5千円 (0.3%減)
		事業費用	4億4,339万8千円 △2,640万9千円 (5.6%減)
資本的支出		2億6,843万6千円 7,902万円 (41.7%増)	



新年度 予算 支出

将来都市像

人 自然 歴史 文化が調和した 活力あふれるまち 酒々井



第6次町総合計画・前期基本計画の2年目となる令和5年度は、計画期間の5年間で特に力を入れて推進すべきとして掲げた3つの重点テーマ「安全・安心」「郷土力」「将来の息吹」の実現を目指し、総合計画の7つの政策分野ごとにまとめられている、まちづくりの基本目標の一部を紹介します。

目標1



誰もが健やかに暮らせる、支え合いのまちづくり(健康・福祉・子育て)

- ▶ 高校生等医療費助成事業 93万円 (入院に係る子ども医療費の助成を高校生等まで拡大)
- ▶ 障害者福祉事業 4,554万円 (重度心身障害者医療給付事業・福祉タクシー事業・紙おむつ支給事業など)
- ▶ 保健センター改修事業 2,178万円 (改修事業に関する設計業務)
- ▶ 老人福祉事業 2,547万円 (はりきゅうマッサージ等施術利用料助成事業・高齢者外出支援タクシー事業など)
- ▶ 放課後児童クラブ事業 4,407万円

目標2



人権と学びが尊重され、豊かな心と歴史・文化が香るまちづくり(教育・文化)

- ▶ 墨古沢遺跡保存整備事業 8,031万円
- ▶ パワーアップE助成事業 127万円 (町内小中学校の小学6年生と中学3年生を対象に英語検定の検定料を1人年1回全額助成)
- ▶ 教育総務一般事務費(学校教育課) 7,507万円 (学習指導等専門支援員配置事業・ICT授業支援教員配置事業・スクールバス運行業務委託事業など)
- ▶ 公民館活動事業 730万円
- ▶ 給食事業 1億5,955万円
- ▶ プリミエール運営事業 2,173万円

目標3



豊かな日常を守る、安全安心なまちづくり(生活安全)

- ▶ 消防団事業 1,667万円
- ▶ 防災行政無線管理整備事業 1,572万円
- ▶ 消防施設事業 1,518万円
- ▶ 防犯街灯事業 2,579万円
- ▶ 防災一般事務費 429万円 (感染症対策を講じた避難所運営や防災体制確立のための防災訓練、ぼうさい出前講座の実施など)
- ▶ 交通安全対策事業 508万円
- ▶ 防犯ボックス事業 1,080万円

目標4



自然と共存し、環境に負荷をかけないまちづくり(環境共生)

- ▶ 環境衛生対策事業 2,190万円 (葬祭組合管理運営の経費や飼い犬の登録管理・狂犬病予防注射の啓発など)
- ▶ じん芥処理事業 1億8,886万円 (清掃組合管理運営の経費や一般家庭ゴミの収集運搬、コンポストや機械式生ゴミ処理機購入への補助金交付など)
- ▶ 地球温暖化対策推進事業 828万円 (家庭での地球温暖化対策促進のため電気自動車の購入や蓄電池システムの設置等に補助金の交付など)
- ▶ し尿処理事業 1,766万円 (衛生施設管理組合管理運営の経費や補助対象区域内に高度処理型合併浄化槽等設置への補助金交付など)

目標5



便利で快適な、歩いて暮らせるまちづくり(都市基盤)

- ▶ 宅地耐震化事業 1,268万円 (大地震時の滑動崩落による宅地地盤の被害防止のため大規模盛土造成地の変動予測調査)
- ▶ 社会資本整備総合交付金事業(道維) 9,570万円 (高野台橋の補修工事や無名橋(20)の補修設計、JR酒々井駅自由通路の点検など)
- ▶ 空き家対策事業 499万円 (空き家等の利活用促進や生活環境保全のため実態調査を行ない、空き家等対策計画の見直し)
- ▶ 河川改修事業 8,098万円 (上岩橋地区に設置予定の中川調節池を整備するための用地購入)

目標6



活力と魅力にあふれ、にぎわいのあるまちづくり(産業・経済)

- ▶ 商工業振興費 426万円
- ▶ コミュニケーションセンター事業 690万円
- ▶ 農業基盤整備事業 691万円
- ▶ コミュニティプラザ運営事業 2,117万円
- ▶ 農業振興管理事業 1,210万円 (イノシシ等の有害鳥獣被害防止対策やふるさとまつり実行委員会や植物防疫協会等に補助金の交付など)
- ▶ ハーブガーデン運営事業 352万円
- ▶ まるごとすい運営事業 1,199万円

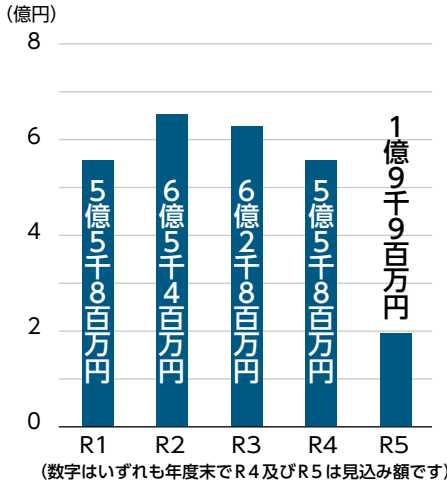
目標7



多様な主体との連携により、地域の力で紡ぎだすまちづくり(地域生活・行財政)

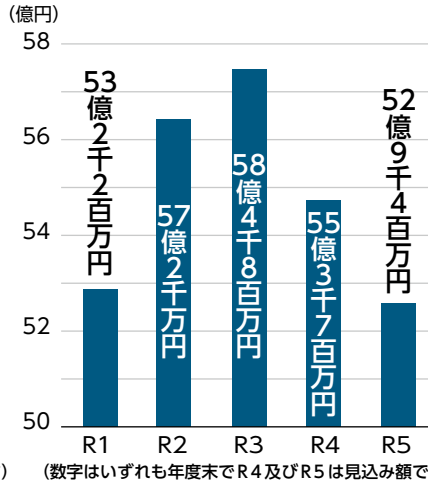
- ▶ 公園等愛護活動推進事業 233万円
- ▶ 地区集会所等補助事業 1,212万円
- ▶ 資材等支給事業 91万円 (住み良い住環境整備の促進や地域住民等の連携のため地域住民自ら施工する生活環境整備工事等に対し必要な資材等を支給)
- ▶ 自治振興事業 700万円
- ▶ 隣保館運営事業 1,056万円
- ▶ 情報化推進事業 4,585万円
- ▶ 庁舎管理事業 2,337万円

財政調整基金(貯金)の推移



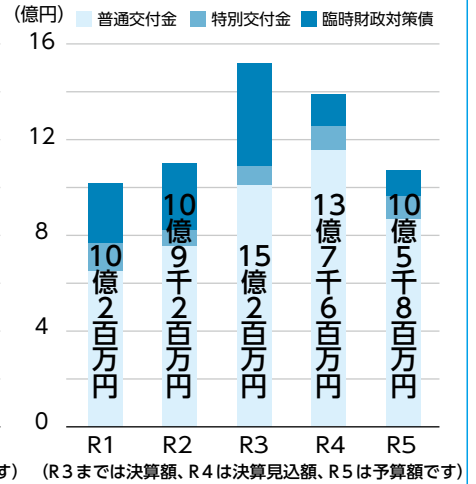
財政の不足を調整したり、急激な税の落ち込みや災害などに備えるための積立金です。

町債(借金)残高の推移



道路や施設等を整備するために町が借り入れるお金ですが、近年、地方交付税で補われる地方の財源不足を、国の財源不足から町が国の代わりに借金する「臨時財政対策債」の借入金残高が増加しています。

国からの財源補てんの推移



すべての地方団体が一定の行政サービスを提供できるように財源を保証するため、地方の固有財源として地方交付税が分配されています。

新年度
予算
審議



修正
動議

議案第11号、令和5年度一般会計予算に対し、河川改修事業(中川調節池を整備するための用地購入費) 8098万3千円を減額した一般会計予算の修正動議が提出されました。

修正動議は、賛成少数により否決となり、結果として町長より提出のあった原案のとおり可決されています。

提出者による趣旨説明

事業計画の説明が15年前に計画した池の規模と事業費が同じであった。建設資材が高騰している中で、以前と同額の事業費5億円(用地費2億円、工事費3億円)で設置できるとは考えられない。一番重要な事業費が不正確で審議する土台のない計画を提出されること自体が議会を否定することであり、池の

設置に賛成反対以前の問題である。以上の理由で用地購入予算の削除を求める。

(提出者) 竹尾 忠雄 議員
(賛同者) 齊藤 博 議員
地福 美恵子議員
内海 和雄 議員

修正動議に対する

討論

議案第11号(修正案)

「町民の命を守る」という意味でこの事業を必ず成功させたいと思いう事業費を削除する修正動議には反対

金塚 学 議員

なぜ集団移転が必要なのか計画には基本的に賛成だが丁寧な説明と了解がなければならぬと考える

齊藤 博 議員

「中川調節池整備事業」は、都市基盤整備に関する施策である。本町の中心市街地付近を流れる中川排水路は欠陥的な状態で、上岩橋トケ先地区の方々が水害に遭っており、その水害を防止し河道の部分を保たせるために今回の整備事業が行われる。

十二年前に議員にさせていたのだが、その後も大きな台風や大雨が降ると浸水し、消防団

の方々が朝早くから夜遅くまで、ポンプで排水している様子などを実際に長靴を履いてお邪魔し、床上浸水、床下浸水のお宅を拝見している。その状況を見ると一日も早く調節池を作つて中川の周辺状況を変えていかなくてはならない。

「町民の命を守る」という意味で、この事業を必ず成功させたいと思いう「中川調節池整備事業」を削除する修正動議には反対する。

今次の計画では、確定もしていない町道のために修正されており、用地取得の不動産鑑定価格についても答弁を拒否された。実行予算の提案には丁寧な説明が必要である。ましてや、15年前とは議員構成も変わっているのではなさらない。

具体的な計画では「印旛沼排水機場」の能力アップに関する修正がされていない。

7 議会だより しすい

町のこれまでの説明では「調節池」ができて「集団移転」が必要だと説明しており、なぜ「集団移転」が必要なのか。関係者にとっては、現在の土地、建物を手放し、新たな土地での生活を強いられる苦勞が伴うものだと拝察する。

計画には基本的には賛成だが、丁寧な説明と理解がなければならぬと考える。

議案第11号(修正案)

反対
平成19年度に否決された二の舞にはしたくない

高崎 長雄 議員

今回計上されている予算は、用地買収の予算となっており工事費ではない。平成19年度に否決された事業の二の舞にしたくない。

反対
土地購入など急いでやらなければならないものであるので反対

白井 則邦 議員

今回の中川の計画は、以前に反対した馬橋川の土地購入とは全く違う。以前からも計画もあり、必要性が認められる。そし

て、国からの有利な交付金が出てきたこのタイミングを逃すべきではない。

集団移転との関係は、この中川調節池はここ数年でできる対策、そして集団移転は世代をまたいだ10年20年というスパンでやる計画との違いがある。複合的にやることで、被害をより軽減することができる。さらに、今回の予算は、土地購入など急いでやらなければいけないもの。予算をつけて間違いなく進めるようにした後で、事業の中心について、しっかりと精査・議論することが我々議会の役割であり、責任である。



早期の治水対策が望まれる中川(京成酒々井駅付近)

討論

原案に対する

賛成
議案第11号
町民の安全安心で笑顔の絶えない生活のために賛成する

小早稲美穂 議員

千葉県では所得制限を設けているが、酒々井町独自で高校生等医療費助成事業が創設され、高校生相当も所得制限なく入院費が8月より助成される。今後、通院や調剤についても助成対象となるよう検討いただきたい。

次に、特別出産給付金は、コロナ交付金を活用し10万円が支給されていた事業であり、交付金の対象外となっても事業が継続されるよう要望してきたが、この度、出産・子育て応援給付金として事業が継続され、妊娠時に5万円、出産時に5万円が支給されることとなった。さらに、宅地耐震化事業では、大地震時に大規模盛土造成地の滑動崩落による宅地地盤の被害を防止するための変動調査が行

われる。町内住宅地の多くが盛土造成地なのでしっかりと調査し、被害防止につなげていただきたい。以上、町民の安全安心な笑顔の絶えない生活のために賛成する。



反対
議案第11号
町民の願いにこたえられない予算とは思えないことから反対する

竹尾 忠雄 議員

15年前の中川調節池地区説明会では、「町は調節池ありきの説明」「上流に池を作っても被害は防げない」「国道51号線4車線の道路雨水は直接中川に流入する」等の意見が多数あった。さらに、資材高騰で事業費が6億7億円見込まれることから住民合意が必要である。



老朽化により現在使用を禁止している町体育館

他にも道路除草費が昨年度より減額され300万円しかない。これでは町民の要望にこたえられない。また、12年間放置していた町民体育館や小学校プールの解体費用が計上されたが、町が解体を決定した理由が「児童に危険を及ぼすから」であるならば一日も早く撤去すべきである。5年度予算では設計費を610万円、6年度予算に解体費を5820万円計上する計画となっている。緊急を要する事業なので数社から見積りを取り委託をすれば610万円の設計費は節約できる。以上のことから町民の願いにこたえられる予算とは思えない。

3月
定例会

議案審議

出産育児一時金が50万円に増額

過去最大



子育て支援センターあいあいでは、4月より新たに生後2か月から12か月のお子さんと保護者を対象とした「パパと赤ちゃんの日」がスタート

議案審議

3月定例会で審議された議案の中から注目議案をご紹介します。
(審議の結果は11頁、13頁に掲載)

議案第17号

監査委員に門脇氏を再任

任期満了に伴い、現監査委員である門脇尚樹氏を再任するため、議会の同意を求めるもの。

《全員賛成で同意》



門脇 尚樹 氏

議案第4号

国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険に加入する被保険者間の税負担の公平性の確保と低所得者層の税負担の軽減を図るため、国民健康保険税の課税限度額を法廷課税限度額に改めるもの。

《賛成多数で可決》

討論

反対

議案第2号・第12号
第13号・第14号
安心して老後を過ごす仕組みを求めて反対する
地福美枝子 議員

日本経済と国民の暮らしは極めて深刻な危機に直面している。このような中、議案4号では、国民健康保険税の課税限度

額が63万円から65万円に、後期高齢者支援金等課税額の課税限度額が19万円から20万円になり、総額99万円から3万円増額され、102万円に引き上げられることとなる。国の補助が減額されている中で国保加入者に負担を負わせることは認めることはできない。
物価高、低迷する経済状況のもとで、議案12号国民健康保険特別会計予算には、高い国保税の引き下げを強く求める。
また、議案14号後期高齢者医療特別会計予算についても保険料が高い、後期高齢者の窓口負担が2倍になるなど、高齢者や介護をする人にとっても大きな負担となる制度になっている。安心して老後を過ごす仕組みを求めてこれらの議案に反対する。



3月定例会 補正予算



一般会計補正
予算QRコード
(町ホームページ)

施政方針 演説 (要約)



施政方針
QRコード
(町ホームページ)

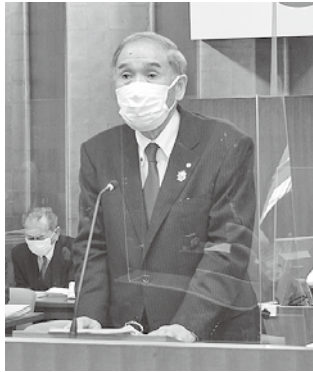
今回の一般会計補正予算では、役場庁舎をはじめ各小中学校や防犯街灯等の公共施設の電気代などが増額補正され、各種事務事業の決算見込みから減額等の調整を行うもの。

《賛成全員で可決》

補正予算の変更額

	増減	合計
一般会計	▲2億1,024万4千円	70億1,130万2千円
国保特別会計	▲1億8,992万3千円	21億1,962万円
介護保険特別会計	1,932万2千円	15億854万5千円
後期高齢者特別会計	▲11万5千円	3億5,874万円

3月定例会において、町長から、令和5年度の主要施策や予算編成をはじめ、第6次総合計画の7つの政策分野ごとのまちづくりの基本目標の達成に向けた取り組みについてなど町政運営の基本姿勢を示す施政方針演説が行われました。



まちづくりの目標

第6次総合計画・前期基本計画の2年目となる令和5年度は、計画期間の5年間で特に力を入れて推進すべきとして掲げた3つの重点テーマ「安全・安心」「郷土力」「将来の息吹」の

実現を目指し、総合計画の7つの政策分野ごとのまちづくりの基本目標の達成に向けて、限られた経営資源を有効に活用し、取組をさらに加速させていきます。

令和5年度の主要施策

①健康・福祉・子育て

- 子ども医療費助成事業
- 子育て家庭の包括支援
- 高齢者の外出支援
- 高齢者の生きがい支援
- 妊娠・出産応援給付金



②教育・文化

- 地域学習「酒々井学」
- パワーアップE事業
- 学校給食の無償化
- 国史跡本佐倉城跡
- 国史跡墨古沢遺跡
- 歴史・文化事業
- 古民家再生・利活用

③生活安全

- 消防・防災事業
- 避難行動要支援者名簿
- 交通安全・防犯対策

④環境共生

- 脱炭素化への取り組み
- 環境保全対策
- 地域猫対策



⑤都市基盤

- 地震に強いまちづくり
- 空き家対策
- 町道の整備及び維持管理
- 中川の治水対策

⑥産業・経済

- 商工業の振興施策
- 「まるごとしすい」の活用
- 観光情報の発信
- 新規創業者の発掘

⑦地域生活・行財政

- 町民参加・協働
- 地域活動拠点「下宿ベース」

持続可能なまちづくり

当町には、優れた交通環境、都市基盤とともに、成田国際空港からの近接性という優位な地域特性があり、さらに先人より受け継がれてきた豊かな自然環境や歴史・文化が、魅力ある地域資源となり続けられ、少子高齢化の中にあっても、十分に持続可能なまちが実現できると考えます。

今後も町民の皆さまがこの町に住んで良かったと、幸福感を感じられるまちづくりに全身全霊で取り組んでまいりますので、皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。

施政方針の詳しい内容は、町ホームページまたは広報ニューしすい4月号をご覧ください。

各常任委員会での審査結果

◎…委員長 ○…副委員長

総務常任委員会

■総務課、企画財政課、税務住民課、会計室、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、その他の事務についての審査を担当

委員 ◎御園生／○内海川島／竹尾小早稲

	件名 (件名は一部省略)	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第1号	町印鑑条例の一部改正	4	0	原案可決
議案第4号	町国民健康保険税条例の一部改正	3	1	原案可決
議案第7号	令和4年度町一般会計補正予算(第8号) ※委員会担当分野	4	0	原案可決
議案第11号	令和5年度町一般会計予算 ※委員会担当分野	4	0	原案可決

教育民生常任委員会

■住民協働課、健康福祉課、教育委員会についての審査を担当

委員 ◎地福／○白井佐藤／齊藤金塚／酒瀬川

	件名 (件名は一部省略)	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第2号	特別職の職員等で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	5	0	原案可決
議案第3号	町国民健康保険条例の一部改正	5	0	原案可決
議案第7号	令和4年度町一般会計補正予算(第8号) ※委員会担当分野	5	0	原案可決
議案第8号	令和4年度町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	5	0	原案可決
議案第9号	令和4年度町介護保険特別会計補正予算(第2号)	5	0	原案可決
議案第10号	令和4年度町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	5	0	原案可決
議案第11号	令和5年度町一般会計予算 ※委員会担当分野	5	0	原案可決
議案第12号	令和5年度町国民健康保険特別会計予算	5	0	原案可決
議案第13号	令和5年度町介護保険特別会計予算	5	0	原案可決
議案第14号	令和5年度町後期高齢者医療特別会計予算	5	0	原案可決

経済建設常任委員会

■経済環境課、まちづくり課、上下水道課、農業委員会についての審査を担当

委員 ◎須藤／○大石高崎／越川江澤

	件名 (件名は一部省略)	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第5号	工事請負変更契約の締結	4	0	原案可決
議案第6号	町道路線の認定及び廃止	4	0	原案可決
議案第7号	令和4年度町一般会計補正予算(第8号) ※委員会担当分野	4	0	原案可決
議案第11号	令和5年度町一般会計予算 ※委員会担当分野	4	0	原案可決
議案第15号	令和5年度町水道事業会計予算	4	0	原案可決
議案第16号	令和5年度町下水道事業会計予算	4	0	原案可決

本会議での 議決結果

賛成・・○ 反対・・× 欠席・・欠 (議長は採決に加わりません)

議案番号	3月定例会 件名と主な内容 (件名は一部省略)	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		採決結果	小早稲	白井	大石	酒瀬川	金塚	須藤	御園生	川島議長	齊藤	内海	佐藤	江澤	竹尾	地福	越川	高崎
<条例の一部改正>																		
1	印鑑条例の一部改正 …令和5年5月から電子証明書の機能を搭載したスマートフォンを用いてコンビニエンスストア等での印鑑登録証明書等の交付が可能となることに伴い、所要の改正を行なうもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
2	特別職の職員等で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 …学校薬剤師の報酬について、現在の5万円から8万円に増額するもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
3	国民健康保険条例の一部改正 …出産育児一時金の支給額が現行の40万8千円から48万8千円へ引き上げられるため、条例の一部を改正するもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
4	町国民健康保険税条例の一部改正 …基礎課税額に係る課税限度額を63万円から65万円に、後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を19万円から20万円に改めるもの。	可決 賛13・否2	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○
<契約の締結>																		
5	工事請負変更契約の締結 …JR酒々井駅自由通路補修工事の工事請負契約について、契約相手方の大木化工建設株式会社と契約金額(12万4,300円増額)を変更する仮契約を締結したことから議会の議決を求めるもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
<条例の制定>																		
6	町道路線の認定及び廃止 …上岩橋地区・飯積地区の7路線の認定及び4路線の廃止に伴い議会の議決を求めるもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
<条例の制定>																		
7	[掲載：10頁] 一般会計補正予算(第8号) …役場庁舎をはじめ各小中学校や防犯街灯等の公共施設の電気代、給食事業に係る調理用備品修繕等の緊急を要する経費を増額し、その他、各種事務事業整理等による決算見込みから減額等の調整を行なうもので、2億1,024万4千円を減額し、補正後の予算額を70億1,130万2千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
8	国民健康保険特別会計補正予算(第3号) …歳入歳出額の確定等に伴い、所要の補正をするもので、1億8,992万3千円を減額し、補正後の予算額を21億1,962万円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
9	町介護保険特別会計補正予算(第2号) …歳入歳出額の確定等に伴い、所要の補正をするもので、1,932万2千円を増額し、補正後の予算額を15億854万5千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
10	町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) …歳入歳出額の確定等に伴い、所要の補正をするもので、11万5千円を減額し、補正後の予算額を3億5,874万円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○

本会議での 議決結果

賛成・・○ 反対・・× 欠席・・欠 (議長は採決に加わりません)

議案番号	3月定例会 件名と主な内容 (件名は一部省略)	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
		採決結果	小早稲	白井	大石	酒瀬川	金塚	須藤	御園生	川島議長	齊藤	内海	佐藤	江澤	竹尾	地福	越川	高崎	
<令和4年度補正予算>																			
11	[掲載：5頁～8頁] 一般会計予算 …予算総額を66億7,885万3千円（前年度比3.7%増）とするもの。	可決 賛12・否3	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	○	○	×	×	○	○
	[掲載：7頁～8頁] 一般会計予算 = 修正動議 = …河川改修事業	修正案否決 賛4・否11	×	×	×	×	×	×	×	×	—	○	○	×	×	○	○	×	×
12	国民健康保険特別会計予算 …予算総額を21億6,333万9千円（前年度比6.3%減）とするもの。	可決 賛13・否2	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○
13	介護保険特別会計 …予算総額を14億7,653万7千円（前年度比1.5%増）とするもの。	可決 賛13・否2	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○
14	後期高齢者医療特別会計 …予算総額を3億6,404万5千円（前年度比1.8%増）とするもの。	可決 賛13・否2	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○
15	水道事業会計 …収益的収入を5億4,180万円、収益的支出を5億584万6千円とし、資本的収入が1億5,392万5千円、資本的支出を2億7,385万1千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
16	下水道事業会計 …収益的収入を3億7,828万5千円、収益的支出を4億4,339万8千円とし、資本的収入が1億1,199万6千円、資本的支出を2億6,843万6千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
<人事案件>																			
17	[掲載：9頁] 監査委員の選任について …委員の任期満了に伴い、 <small>かどわきな おき</small> 門脇尚樹氏の再任につき議会の同意を求めるもの。	同意 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
<発議案> 議員提出による議案																			
1	町議会の個人情報の保護に関する条例の制定 …個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、令和5年4月1日から、地方公共団体の執行機関に直接適用される個人情報保護法の規定が、地方議会は原則として適用対象外とされており、議会における個人情報の取扱いについて、議会独自の条例を新たに制定するもの。 (提出者) 内海 和雄 議員 他4名	可決 賛13・否2	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○



一般質問

町のがんが聞きたい 町の考えを問う

1 (P15)	大石 法子 議員	▶ 子育て支援の充実 ▶ デジタル化推進 ▶ HPVワクチンの定期接種
2 (P15)	酒瀬川 芳子 議員	▶ 町の活性化 ▶ 町の観光地
3 (P16)	須藤 伸次 議員	▶ 人口減少の解消と高齢化対策
4 (P16)	金塚 学 議員	▶ 安心・安全で住みよいまちづくりの推進 ▶ 子育て支援の拡充 ▶ 町の活性化推進 ▶ 脱炭素化、デジタル化等の推進 ▶ 観光振興の推進と地域経済の活性化
5 (P17)	江澤 眞一 議員	▶ 公共施設の老朽化対策 ▶ スクールバス事業 ▶ 中学校の部活動 ▶ 学童保育
6 (P17)	御園生 浩士 議員	▶ 予算の方針・概要
7 (P18)	白井 則邦 議員	▶ 性的マイノリティーへの対応 ▶ 空き家対策・所有者不明土地問題 ▶ 選挙権行使のための支援 ▶ 子育て支援 ▶ 福祉政策
8 (P18)	小早稲 美穂 議員	▶ 町のがん検診・高校生等医療費補助制度・ 小児慢性特定疾病・指定難病について ▶ キャッシュレス決済の導入について
9 (P19)	齊藤 博 議員	▶ 在宅介護されている家庭への町独自の支援策 ▶ 高齢者の足の確保策 ▶ 議決事項について
10 (P19)	内海 和雄 議員	▶ 街づくりについて ▶ 給食費の無償化 ▶ 県道富里酒々井線 ▶ 墨工業団地 ▶ 会計処理について
11 (P20)	竹尾 忠雄 議員	▶ ちびっこ天国 ▶ 安全な中学校グラウンドを ▶ ふれ愛タクシーの充実 ▶ 旧酒々井機場 ▶ 道路問題 ▶ 中川治水対策
12 (P20)	地福 美枝子 議員	▶ 平和問題 ▶ こども家庭庁 ▶ 来年度予算の子育て支援 ▶ コロナ感染対応の変更

※各議員の質問事項については、本誌に掲載してある質問をゴシック体で表記しています。
※小早稲美穂議員より一般質問通告書の提出がありましたが、体調不良により欠席のため、
通告書は取り下げとなりました。



＝議会の様子(録画)を公開しています＝

議員下のQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

本会議録画中継
はこちらから▶



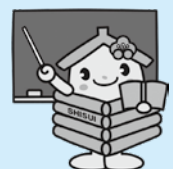
一般質問とは、議員が、事務の執行状況や将来の方針などについての報告や説明を町長などの執行機関に求めることです。

3月定例会では、3月8日と9日の2日間で12名の議員が登壇し、町政について質問しました。

ここでは、質問と答弁を要約した内容を質問順にお知らせします。

※今回の令和5年第1回定例会の会議録(6月上旬発行予定)は、

インターネット
または図書館でご
覧いただけます。



問

伴走型子育て支援の充実を

答

創意工夫により、負担軽減を図っていく

問 政府は子どもが生まれ、社会人として巣立つまでの長期に渡り、異次元の子育て支援を行うと発表したが、具体的な運用は自治体ごととなっているがその内容を伺う。

町長 市町村の創意工夫により妊娠出産時の必要品や産前、産後ケア、一時預かり、家事支援などを負担軽減のため継続的に実施するとしている。当町では既に独自事業として令和2年度から特別出産給付金支給事業を行っており、子ども一人あたり10万円を支給している。

HPVワクチンの定期接種状況は

問 子宮頸がんの発症予防を目的としたヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンについて対応を伺う。

健康福祉課長 HPVワクチンは、国の方針に基づき、令和4年度から積極的勧奨を再開した。小学校6年生から高校1年生の女子に対して、順次、個別にお知らせと予診票の送付を開始した。また、積極的勧奨を差し控えていた期間に接種を受ける機会を逃した高校2年生から25才の方にもお知らせと

予診票を個別に送付している。

デジタル化の推進を

問 総務省が市町村のデジタル化推進を後押しするために始める新制度を受けて、当町の取り組みを伺う。

総務課長 町として、自治体DXの取り組みを推進していくにあたり、職員の全体のデジタルリテラシーの向上はもちろんのこと、現在進めている行政手続きのオンライン化やSNS等を活用した情報発信の強化や町民のデジタルデバイドの解消等を進めるために、今後、国や県の支援制度を有効活用するよう検討していく。



大石 法子議員



- 自治体DX…デジタル技術を活用し、行政サービス等を向上させていくこと
- デジタルリテラシー…デジタル技術を業務などに活用する能力のこと
- デジタルディバイド…情報通信技術（IT）の恩恵を受けることのできる人とできない人の間に生じる経済格差を差し、通常「情報格差」を記される

問

京成宗吾参道駅へのエレベーター設置進捗状況は

答

京成電鉄において検討している

問① 市街化調整区域における「鉄道駅を活かして地域拠点の形成と活性化」という土地利用の方針では「京成宗吾参道駅とJR南酒々井駅は地域の活性化に向けてそれぞれ500m以内の区域に周辺住民の生活拠点としてふさわしい商業・業務機能を誘導する」とあるが、現在の駅周辺でこの計画は実行できているのか。

問② 京成宗吾参道駅前の環境整備やエレベーター設置など、駅周辺のまちづくりについて伺う。

町長①② 現時点では、窓口で土地に関する調査等はあるものの、都市計画提案に係る事前相談所の提出はないが、民間事業者からまちづくりの提案が促進されるよう、情報発信に努めている。

企画財政課長② 京成電鉄（株）においてエレベーター設置に向けて検討を進めているが、宗吾参道駅の駅舎の状況等から改修の時期や方法等については検討中とのことである。

問 令和2年3月議会において、「JR南酒々井駅を中心とした環境整備と活性化に関する意見書」を提出したが、

その後の進捗状況を伺う。

まちづくり課長 地区計画ガイドライン等を定め、都市的土地利用ができるようになったことから、定住促進や生活支援施設の誘導は図られている。

問 JR南酒々井駅の活性化を図る上で重要となる「跨線人道橋の整備」の進捗状況を伺う。

まちづくり課長 町は接続道路を含む駅前広場等の整備が必要となり、また、軌道内工事はJRへの委託工事となり多額の費用が予想されることから、地権者や事業者等の動向を注視しつつ、慎重に検討していきたい。

ハーブガーデンの拡張・充実を

問 しやすいハーブガーデンは開園から30年の歴史を持ち、令和3年9月から運営を「特定非営利活動法人ハーブの丘」に移行したが、アウトレットや墨古沢遺跡にも近いことから、観光地の繋がりととして、ハーブガーデンを拡張・充実する考えはあるのか伺う。

経済環境課長 墨古沢遺跡との連携が大切であり、両施設が行き来できるように遊歩道整備等を検討していく。



酒瀬川 芳子議員



問

若い世代に移住してもらえ
る施策の推進を

答

仕事や子育ての社会環境を皆さん
とつくっていききたい



須藤 伸次 議員



これまで数回となく、訴えてきた次の点について改めて町の考えを伺う。

問 第6次酒々井町総合計画がスタートして間もなく1年が経過するが、人口は計画どおりに推移しているのか。また、今後の税収見込みを伺う。

企画財政課長 人口ビジョンにおける人口推計として、やや少ない人口で推移している。主な要因は、出生者数より死亡者数が多いことにある。

税務住民課長 町税はコロナ禍前の水準に回復している兆候が見られる事から、令和5年度予算を対前年度予算比で1億6,117万4千円の増額を見込んでいる。

問 少子化対策の一環として、若い世代が町内に移住してもらうための施策や計画を伺う。

町長 人口増に必要なのは、若い人が将来への展望が持てる地域、社会であるかどうかだと考える。働く場の創出とそこで働く若者に将来へのいきがい希望を育み家計所得が増し、働くために安心して子どもを預けられる社会環境を皆さんとつくっていききたい。



中心市街地と位置づけている
京成酒々井駅東口周辺エリア

要望 上岩橋地区に特別養護老人ホーム(90床)を建設する計画があるが、予定どおり令和7年3月の開所に向けて努力してもらいたい。

問 町内4駅周辺の宅地開発が必要と考えるが、現状を伺う。

町長 現在、駅周辺に具体的な開発計画や都市計画提案はないが、「市街化調整区域における土地利用方針及び地区計画ガイドライン」も活用いただき、民間事業者から、まちづくりの提案が促進されるよう、情報発信に努めていく。

問

京成酒々井駅東口に防犯カメラの
設置を

答

令和5年度に駅前広場に新設する



金塚 学 議員



問 町では犯罪が起こりにくい環境整備と犯罪抑止力を高めるため、防犯街灯や防犯カメラの設置を行い、ハード面での防犯に取り組みられているが、京成酒々井駅東口ロータリーへの設置予定はないのか。

まちづくり課長 京成酒々井駅周辺には既に3箇所防犯カメラが稼働しているが、令和5年度に京成酒々井駅東口駅前広場に新設する予定である。

医療費助成を拡充する計画は

問 町では中学校3年生までの子ども医療費助成を行い、子育て世帯の経済的な負担軽減に努めているが、さらに拡充し、高校生までの医療費助成を行う考えや計画はないのか伺う。

こども課長 令和5年8月診療分より、高校生等の入院に係る医療費の自己負担分を助成する高校生等医療費助成事業を実施したいと計画している。

JRホームの整備に向けた要望を

問 町の通勤通学で特に利用客の多いJR線快速列車は15両編成であるが屋根は8両分しかない。ホーム幅も狭く雨風が強い日は危険な状態である。町

は毎年鉄道会社に要望しているが、すぐ脇に用水路があり鉄道会社だけでは解決は困難である。問題解決に向け町からの提案型の要望は行わないのか。

企画財政課長 JRからは、経営環境は厳しい状況にあり、路線を維持するため様々な経費削減に取り組んでおり、法令で義務づけられていない施設整備は厳しいと伺っているが、プラットホームを拡幅する場合、町管理の雨水幹線水路の改修等のような影響があるかを踏まえ、検討していきたい。

メイン道路にふさわしい街灯整備を

問 町のメイン道路であるJR酒々井駅、京成酒々井駅間は水銀灯の街灯が設置されている。メイン道路にふさわしい街灯の整備の予定や計画はあるのか伺う。

まちづくり課長 2020年末で水銀灯の製造、輸入が禁止になっており、電球が切れた場合に電球の交換では対応できず、灯具本体の交換が必要となる可能性がある。現在、街灯を整備する計画はないが、今後、デザインを含め、更新に向けた検討をしたい。

問

公共施設の老朽化対策は

答

町体育館は解体し、跡地は有効活用する



江澤 眞一議員



問 中央保育園の対応及び岩橋保育園との統廃合について見解を伺う。

こども課長 中央保育園は耐震工事を始め、必要ときに改修工事を実施してきた。岩橋保育園との統合は、園児数だけでなく、保護者等の声を踏まえ、丁寧な議論により検討していきたい。

問 保健センターの今後の方針を伺う。

健康福祉課長 老朽化が著しいことから、大規模改修を計画している。令和5年度に工事の設計等を行い、令和6年度、7年度で工事を行う予定である。

問 町体育館と酒々井小学校プールを解体することだが、跡地利用について町の考えを伺う。

生涯学習課長 学校、財政担当と検討して、跡地を有効活用していきたい。

スクールバス事業

問 下岩橋地区へのスクールバス導入について町の考えを伺う。

学校教育課長 路線バスの廃止に伴い、これを利用して地区に限ってスクールバスを運行しているので、下岩橋地区の児童は、電車を利用しての登校を継続してもらっている。なお、下岩

橋地区の児童には、定期代を全額補助するとともに、安全対策の指導もしている。

中学校の部活動

問 酒々井中学校の部活動で外部委託を含めた今後の方針を伺う。

学校教育課長 まず休日の部活動の地域移行を進めていく方針で、令和5年8月中旬に中学校において1つの部活で地域移行を進め、令和7年度以降は成果を踏まえて、更なる地域移行を進めたいと思っており、その際、外部委託の必要性が出てくるかもしれない。

学童保育について

問 学童クラブへの来年度の委託料、補助金、それぞれの予定人数を伺う。

こども課長 酒々井小学校児童クラブは委託料1,798万3千円、定員100人。大室台小学校児童クラブは委託料1,521万円、入所児童は60人。昭苑学童クラブは補助金892万円、定員80人として、当初予算に計上した。登録児童数や開所日により金額が増減するが、各クラブからの見積書により算出している。

問

町職員の適正数は何人か

答

一概に適正数は言えないが、定員管理調査で言うと職員数は多い



御園生 浩士議員



過去に人件費削減は重要な課題と報告があった。平成18年度決算では人件費割合は65・2%あり、このとき町長は、「役場残って町亡ぶ」と発言され、人件費割合は40%以下が望ましいと考えている。経常的経費である人件費等の削減に努めていくと発言している。そこで、次の点を伺う。

問 地方税に占める現在の人件費割合と適正値は何%か。

企画財政課長 最新で公表されている令和2年度市町村の決算状況から分析すると、県内平均は42・9%、酒々井町は54・9%で県内中位に位置し、県内町村だけで見ると平均75・5%、低い方から数え、芝山町に続き2番目であり、都市部ほど割合が低く、町村ほど地方税に占める人件費の割合が高い傾向が見られる。

問 町職員の適正数は何人と考えているのか。

町長 適正というのは非常に難しい。市町村の特徴や安全安心部門(災害等)への増員も必要との話しもある。自治体が採用している職員数が一つの目安



になるが、それが適正ということではなく、必要に応じて措置を講じていく。ただし、国の定員管理調査で言うと、酒々井町は多いと言われている。

問 現在の職員数は何人か。

総務課長 職員数は、令和4年4月1日現在で177人いる。

問 職員の地域手当は現在何%支給しているのか。また、高い人と低い人の金額は幾らになるのか。

総務課長 地域手当は6%で、月額換算だと最高で3万円、最低で1万円となる。

問 性的マイノリティーへの取り組みは

答 セミナーの開催や学校でも教師への研修等に取り組んでいる



自井 則邦議員



問 前回一般質問した令和2年12月議会以降の、性的マイノリティーへの取り組み状況を伺う。
健康福祉課長 個人の生き方を尊重できる社会実現のため、人権セミナーなどをを行い、町民への理解促進や啓発を行っている。

学校教育課長 学校では、教職員への性的マイノリティーの理解を深める研修、児童生徒への指導、環境整備、教育相談に取り組んでいる。

空き家バンクの登録件数は

問 空き家バンクの登録物件数を伺う。
企画財政課長 空き家バンク登録に向けて、広報等での周知や空き家所有者に対し、空き家バンクに関する案内を送付する等の対応をしてきたが、現在、物件登録には至っていない。

選挙権行使のための支援を

問 高齢や障がいにより投票所まで足を運べない人のために、移動投票所の設置、移動支援などの支援は考えているのか。
総務課長 当町は小さな面積にありながら8カ所の投票所を設置し、一投票

所が受け持つ面積は、近隣自治体と比較してもトップの行政サービス、つまりコスト等を投入し、投票環境の充実に努めており、移動投票所の設置は人材、コスト等の課題から難しい。移動支援については、ニーズを含めた上で、今後検討していきたい。



酒々井町は投票環境の充実に努めています

子育て支援体制の充実を

問 妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施するための町の支援体制を伺う。
こども課長 子育て支援センターあいと保健センターが連携して事業を進めている。あいあいでは主に産後の子育て期の保育に重点を置いている。

問 医療費助成を高校生等まで拡充してほしい

答 令和5年8月診療分より、入院に係る医療費分を助成する



小早稲 美穂議員



問 中学生以下の医療費助成は、県では所得制限を設けているが、酒々井町では設けていない。高校生相当にも同様な医療費助成を行う考えはないのか。
町長 令和5年8月診療分より、高校生等の入院に係る医療費の自己負担分を助成するため、予算の計上をした。

問 癌のスクリーニング検査 腫瘍マーカー検査費用一部助成について町の考えを伺う。
健康福祉課長 腫瘍マーカー検査は、メリットがある反面、デメリットもあるので、町としては国の推奨する検査方法を引き続き実施していきたい。

問 ヘリコバクター・ピロリ菌の検査費用一部助成について町の考えを伺う。
健康福祉課長 ピロリ菌検査を実施した場合でも、現在行っている胃部エックス線撮影等の検査は必要となるので、ピロリ菌検査の実施については、有効性等を踏まえ検討していきたい。

問 小児慢性特定疾病・指定難病の方へ町で支援していることを伺う。
健康福祉課長 指定難病の方には、月額3千円を見舞金として支給している。

問 小児慢性特定疾病のおむつが必要なものどもへおむつの支給をしてほしい。
健康福祉課長 小児慢性特定疾病の3才以上で対象となる機能に障害のある方には紙おむつを支給している。

キャッシュレス決済の導入の考えは
問 PayPayやLINEPayによる町税・保険料・上下水道料金の収納を行っているが、サービスを増やすなど今後の取り組みについて伺う。
税務住民課長 スマホ収納サービスの提携先を令和5年度に3つ追加する予定で、納付環境の整備に努めていく。

問 役場窓口で各種証明書発行など現金収納にて業務を行っているが、現金と共に各種クレジットカード・交通系ICカード・QUOカードなど窓口利用者の利便性の向上及び業務負担軽減につながるコンビニ並みのキャッシュレス決済ができるようにしていただきたいが、町の考えを伺う。
総務課長 キャッシュレス決済の導入については、費用対効果など関係課と調整しながら検討していく。

問

介護サービスを受けるとなぜ家族介護慰労金がもらえないのか

答

家族で介護をしていることに対する慰労金の意味合いがある



齊藤 博議員



問 現在、介護保険特別会計から支給されている「家族介護慰労金」の支給目的は何か。該当者は5、6人で、介護サービスを受けていないことが受給要件である。なぜ介護サービスを受けてはダメなのか。

健康福祉課長 家族介護慰労金は、介護保険を使わず、家族が介護している

答 答弁なし

問 今後も、「在宅での介護」に依存することが続いていくと思うが、同じ介護保険料を支払いながらも見返りを比較せざるを得ない。施設入所なら介護保険から十分な介護が受けられるが、施設入所の場合と在宅介護の場合では介護保険から支給されている金額は、一人あたりどれぐらい違うのか。



介護保険申請窓口

健康福祉課長 施設介護と在宅介護はまったく別のものである。施設の場合は、医療や介護、食事、風呂など、すべてが生活拠点となり、ある意味では家となる。在宅の場合は、ヘルパーが来る部分に高齢者・介護施策が入るものであり、お金の係らない部分も沢山ある。そういった部分を比較しなければならず、純然にお金での比較は厳しいと考えている。

要望 施設入所と比べ、在宅での介護は大変である。そのような家族を援助するためには、町独自の施策が必要であり、検討をお願いする。

問 介護サービスには、限度額が設定されているが、「限度額を超えた分は自己負担になる」ためか、十二分には利用されていない。在宅介護の介護サービスの利用率はどのくらいか。

問

中央台公共用地の活用を

答

スポーツ少年団等が使用しており健全育成に重要な場所である



内海 和雄議員



問 次の地域は酒々井のまちづくりを進める上で重要な地域であり、有効な土地利用を図りながら、開発を進めることが急務であると考えますが、町の考えを伺う。

①京成宗吾参道駅周辺

②京成酒々井駅西口

③南酒々井駅周辺

④上岩橋地区（上郷）周辺

⑤酒々井インターチェンジ周辺

⑥中央台公共用地の活用

まちづくり課長①～⑤ 町としては、都市計画決定、マスタープラン、市街化調整区域における土地利用方針及び地区計画ガイドラインなど指針を示しているため、適合するような相談があれば適宜対応していく。また、民間事業者からまちづくりの提案が促進されるよう、情報発信に努めていく。

生涯学習課長⑥ 中央台公共用地はスポーツ少年団等に使用を許可しており、青少年健全育成に重要な場所である。また、各行事の臨時駐車場や災害時等の緊急避難場所にも指定しているため、引き続き、維持管理に努めていく。

学校給食費の無償化実施を

問 保護者の負担軽減の一環として学校給食費の無償化を実施すべきと思うが、町の考えを伺う。

学校教育課長 無償化を実施することにより今後一般財源から多額の支出が毎年続くことを勘案すると、現段階では困難であると考えている。

県道富里酒々井線の整備促進を

問 県道富里酒々井線の整備や古沢橋への歩道の設置を県に対して強く要望すべきと思うが、町の考えを伺う。

町長 墨古沢遺跡等の関係で、古沢橋の周辺環境が変わってきているので、それを踏まえて県に必要性を十分に説明していきたい。

墨工業団地への企業進出状況は

問 積極的に企業誘致を図り、雇用の促進等につなげる必要があるが、墨工業団地の進捗状況を伺う。

経済環境課長 進出希望企業と土地所有企業との間で、かなり現実味のある土地売買交渉が行われている。工場立地が決まった際には議会にもお知らせする。

問

ちびっこ天国の解体費用は
基金で賄えるのか

答

解体費用の設計金額は
出していない



竹尾 忠雄議員



ふれ愛タワクシーを元の4台運行に

問 酒々井ちびっこ天国検討委員会からの提言（平成26年1月）で「今後、多額の費用が必要となってくるため、基金で運営していくことは困難となってくる。施設の廃止や跡地利用について検討すべき」と町長に提言があったのに、9年間も放置し、基金を使い続けたが、解体費用は基金で賄えるのか。令和4年度末の基金残高は1億

副町長 利用者のニーズや費用対効果も改善を求めるが、町の考えを伺う。

経済環境課長 現在の基金残高は1億7,648万3千円で、解体費用は設計していないので、金額は出していない。

安全安心な中学校グラウンド整備を

問 平成21年度の中学生模擬議会で「野球部とサッカー部が交差して危険」と生徒からの訴えがあった。町は平成27、28年度に用地購入したが、その後は予算計上もされていないが、現在の用地取得率を伺う。

副町長 基本設計に基づく概算面積に対する取得率は約20%、購入面積は1万1,194.22平方メートルである。ここ数年はコロナ禍等もあり地権者ともなかなか会えず、買収には至っていない。

旧酒々井機場取得の協議結果は

問 町は令和2年9月議会で旧酒々井機場を「農業遺産として残したい、国と協議している」と報告があったが、協議結果を伺う。

副町長 協議結果を伺う。

経済環境課長 現在、国と払い下げの方法等の協議を継続している。

問

防衛費増大と憲法第9条との関わりをどのように考えているのか

答

国政の場で議論されるものである



地福 美枝子議員



新たな子育て支援策は

問 防衛費5年で43兆円は、世界第3位の軍事国家となるが、公民や地方自治体にどのような影響があるのか。また、憲法第9条との関わりについて町長はどのように考えているのか。

副町長 これまで要求してきたいくつかの子育て支援策について、来年度予算に反映する予定はあるのか。

町長 国は、国民の生命と財産を守ることが重要な責務である。国政の場で国民の代表である議員により、国民や地方公共団体への影響に対し、十分な議論がなされるべきものと考えており、国会に対して大いに期待している。

13も家庭庁設置による組織改編は

問 こども家庭庁が4月に設置されるが、行政機関として何らかの変更はあるのか。

副町長 町は国の施策に先んじて平成19年度から教育委員会に「こども課」を設置し、乳幼児から義務教育期までの包括的な子育て支援に特化した施策を行っている。今後、こども家庭庁の政策等に対応するために、こども課を中心に検討していきたいと考えているので、行政組織の変更はない。

「コロナ2類から5類」への影響は

問 政府は5月から新型コロナウイルス感染症を5類に引き下げると打ち出したが、町民への支援策の変更を伺う。

副町長 政府は5月から新型コロナウイルス感染症を5類に引き下げると打ち出したが、町民への支援策の変更を伺う。

健康福祉課長

健康福祉課長 PCR検査と抗原定性検査は、5月2日まで実施するが、自宅療養者への生活支援物資の提供は、陽性者でも症状が落ちついた際は最低限の外出は差し支えないとしていることから、3月末までの実施とする予定である。ワクチン接種は引き続き、国の方針に従い実施し、保健センターでは引き続き、町民からの問い合わせに対応していく。

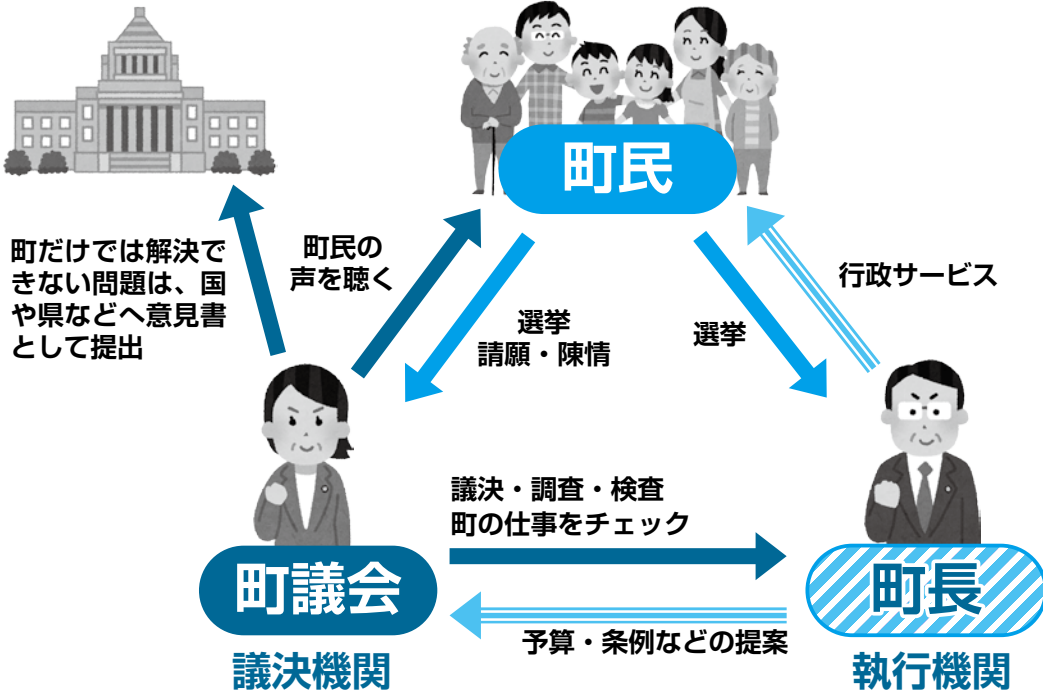
町議会のしくみを紹介します

町議会とは

町議会は、町民を代表する町議会議員が、生活に関係するさまざまな問題を話し合い、町政が適正に行われているかをチェックし、町政の方針を決定する機関で、「議決機関」といいます。

また、町議会で決定した意思に基づいて実際に仕事を行うのが町長や教育委員会などの行政委員会で、これらを「執行機関」といいます。

議員と町長は町民の皆さんより直接選挙で選ばれた町民の代表として、それぞれが独立して自主的に対等な立場で「議決機関」「執行機関」の権限を行使し、町民の皆さんの意見を町政に反映させ、「酒々井町」をより住みやすい町にするため、町の方針を決定しています。



定例会と臨時会とは

毎年、3月・6月・9月・12月の年4回開かれる「定例会」と、補正予算の審議など必要に応じて特定の事件に限って開かれる「臨時会」があります。

本会議とは

本会議は、町議会の意思を決定する会議です。

全議員で構成されており、議員定数の半数以上の議員が出席したときに開会されます。町議会に提出された議案や町議会としての意見表明などは、最終的にはすべて本会議において議決されます。

本会議では、提案された議案についての説明や質疑・意見の表明（討論）、その議案について認めるかどうかの採決、

町政全般について町長等執行機関に方針を問う一般質問などが行われます。

委員会とは

町議会に提案された議案・請願等は、本会議で直ちに決めることもありますが、よりきめ細かく審議するため、専門的な委員会に分かれて詳しく審議できるように3つの常任委員会があります。

- 総務常任委員会
- 教育民生常任委員会
- 経済建設常任委員会

他にも決算審査特別委員会など必要に応じて設置する特別委員会があります。

また、議会運営や会議規則に関することなど議長諮問に関することを協議し、議会をスムーズに進めるために開く議会運営委員会があります。

町議会の基本的な流れ

本議会



- ・町長や議員が議案を提案する
- ・議案の内容を説明する（提案理由）
- ・議案について質問する（質疑）
- ・議案の内容ごとに担当する委員会へ振り分ける

委員会



- ・担当課から議案の説明を受け、議員から質疑をするなどして専門的に審査する。（委員会付託）

本議会



- ・地域振興や防災対策など町政全般について質問する（一般質問）
- ・各委員会の審査結果の報告
- ・賛成または反対意見の表明（討論）
- ・町議会として賛成か反対かを多数決で決定（採決）

町議会の権限

町議会には、役割を十分に果たすことができるように、さまざまな権限が与えられています。

議決権

条例の制定・改廃、予算・決算の認定など議案について審議し、町の意思または議会としての意思を決定する権限です。

選挙権・同意権

議長・副議長、選挙管理委員会などの選挙や、町長が副町長・教育委員会委員・監査委員などを選任する際に同意を与える権限です。

検査・監査請求権

検査権は、町の事務が議決どおりに執行されているか検査する権限です。監査請求権は、監査委員に対して町に関する事務の監査を行うよう求め、報告を請求する権限です。

調査権

地方自治法百条に規定されていることから「百条調査権」といわれ、町政全般について議会独自に調査を行う権限です。

請願・陳情の受理権

町民から提出された請願・陳情を受理・審査する権限です。

請願と陳情

町民の皆さんが町政などについて、直接、町議会に要望ができる制度です。

請願

国民に認められた憲法上の権利のひとつで、国や県や町に対して、それぞれ意見や要望ができる制度です。

担当の委員会に付託し審査を行い、本会議で採択か不採択かを最終的に決めます。採択された後、国や県などが行う内容のものは、関係機関に意見書を提出します。直接町政に関係するものは、町長に請願を送付します。

なお、提出にあたっては、1名以上の議員の紹介が必要です。

陳情

公の機関に対して特定事項について適切な措置をとってもらうため、その実情を訴えることです。

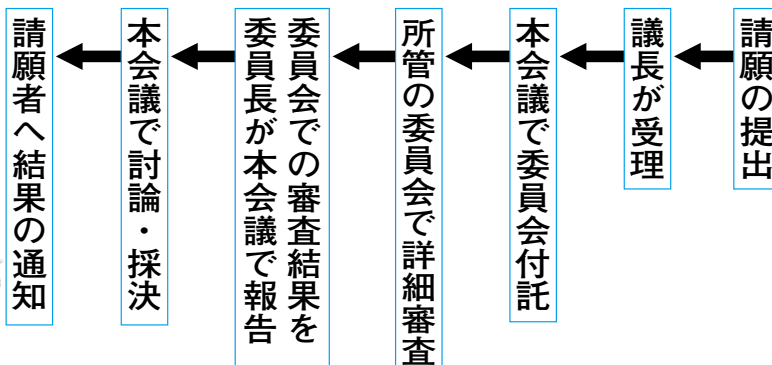
なお、議員の紹介は必要ありません。議員より特に意見がなければ、陳情の写しを全議員への配布と本会議での報告のみとなります。

なお、議員の紹介は必要ありません。議員より特に意見がなければ、陳情の写しを全議員への配布と本会議での報告のみとなります。

請願・陳情の提出方法はこちらから



請願審査の流れ



賞
受
おめでと
う
ございま
す

町議会議員として15年

自治功労者表彰

町議会議員として多年にわたり地方自治の振興発展に寄与された功績により、佐藤議員、内海議員、御園生議員、川島議員、齊藤議員の5名が2月22日に全国町村議会議長

会長から自治功労者表彰を受けられました。3月定例会の初日、開会前に議場にて伝達式が行われ、竹尾副議長より表彰状が贈呈されました。



齊藤 博 議員
川島 邦彦 議長
御園生 浩士 議員
内海 和雄 議員
佐藤 修二 議員

傍聴案内

議会本会議を傍聴してみませんか

酒々井町議会は、毎年3月、6月、9月、12月の年4回開かれる「定例会」と、補正予算の審議など必要に応じて特定の事件に限って開かれる「臨時会」があります。

本会議は一般に公開されており中学生以上の方ならどなたでも傍聴することができます。

傍聴のしかた

傍聴を希望される方は、本会議が開かれる当日、直接、町役場中央庁舎3階の傍聴受付までお越しください。

①傍聴受付には、中央庁舎1階中央にあるエレベーターまたは階段で3階まで上がってください。

②受付票に住所・氏名・年齢をご記入いただき、回収箱にご提出ください。

③傍聴券の交付を受けた後、係員の指示に従って静かに傍聴していただきます。

インターネット議会中継

本会議の様子をインターネットでライブ中継配信を行っています。

また、過去の本会議の様子は、録画中継でご覧いただけます。

ホームページまたはQRコードよりアクセスしてご覧ください。

本会議の日程については、事前にホームページで確認するか、議会事務局にお問い合わせください。

6月定例会のお知らせ

次の定例会は6月6日(火)から開会予定です。

会期の概要は5月30日(火)に開催予定の議会運営委員会で決まります。会期等は町ホームページでお知らせします。

詳細は、議会事務局にお問い合わせください。
☎ (496) 1171
(内線251、252)

編集にあたって

議会だよりを通して町議会を身近に感じていただけるよう作成してきました。QRコードを使って議会のホームページや本会議の中継などご覧いただけます。次号からは新メンバーでの議会だよりになります。

- 委員長 酒瀬川 芳子
- 副委員長 白井 則邦
- 委員 江澤 真一
- 委員 御園生 浩士
- 委員 大石 法子
- 委員 小早稲 美穂

消防団本部に聞きました

①酒々井町はどんなところ？

②活動での大変なことや苦労したことは？

③町にどのようなことを期待しますか？

関根 勇夫 団長



① 緑豊かな田園風景が広がり、さらに、交通の利便性も良く、首都圏への移動にも適している町です。

② 近年、団員数の減少に苦慮しています。日中地元に残る団員が少なく、現場活動に支障をきたしています。

③ 消防団独自の新団員の募集に限らず、各地区自治会皆様にもご協力いただけるように呼びかけを行っていただきたいです。

① 安全・安心に暮らせる町。日本一古い町の歴史と伝統があり、かつ、将来性に希望が持てる町です。

② 火災出動時に長時間にわたる防御活動となり、団員の人員不足により、交代要員が確保できず、夜通し消火活動を行ったことです。

③ 台風などの災害時に備え、戸別受信機などの情報伝達手段を充実させてほしいです。

小池 秀和 副団長



松本 映彦 副団長



① 生まれ育った町であり、自然が多く、水清く、安全で暮らしやすく、空気の良い町です。

② 消防団員勧誘の際に、飛び込みで新住民のお宅等を訪問し、消防団の活動内容や良さを説明して回ったことです。

③ 発展については申し分ございません。安全で暮らしやすい町を継続してほしいと考えます。

① 自身の成長、そして、子どもたちも仕事も育んでくれる生きる上での大きなステージです。

② 多分、肉体的にも精神的にもあるとは思いますが、あまり感じないようにしています。でない歩みが止まりそうで。

③ 防災上もさることながら、広い意味で安心して子どもを産み育てることのできる「未来へ繋げるまちづくり」を切望します。

杉松 重信 副団長



小島 儀彦 本部長



① 小さい時から住んでいる古里の町です。空気、水、お米なども美味しい町です。

② 山の中にある建物火災で消火栓が近くになく、ホースを延長するのが大変でした。少し前は無線機が無く連絡が大変でした。

③ 子ども、子育て世代、高齢者が住みやすい町にしてほしいです。